

R6
2.1



のぎくぐみだより



担任 早川

～お子さんたちの姿～

外に出ると体をキュッと締めたくくなるような寒さが続いていますが、梅の枝先にある小さなつぼみがひとつひとつと開花しはじめ、近づく春を感じます。

のぎくぐみのお子さん達は寒さの中での元気いっぱい毎日うさぎさんやりすさんになって遊んでいます。お友だちと一緒に遊ぶのがすごく楽しくなったうさぎさんりすさん達は手つなぎ遊びだけでなく、ルールのある遊び(集団遊び)に興味がい深まりました。ひとりひとり好きな集団遊びがあり「今日はムックリくまさんしよう」と誰かが言うと、鬼決めが始まりました。鬼を決めるのに「何で決める?」とワイワイかやかや賑やかです。自分の思いを発言し、みんなで一つの遊びを楽しんでいく姿がとても微笑ましく私も一緒に遊ぶのがとても楽しくなりました。

そして次の日には「今日はかごめかごめしようよ」とまた違う遊びが始まりました。またまた次の日には・・・まだまだルールが今ひとつの遊びもありました。お友だちとルールを守って遊ぶ事の楽しさを味わいながら日々、遊びを積み重ねると共にうさぎさんりすさんになり、一人一人のやる気や自信を奮っていきたいと思います。

—自立に向かって—



のぎくぐみのお子さんたちは毎日の生活の中で自分のことを自分でできるようになってきました。保育園で少し困難なことに会って「どうしたらいいと思う?」「もう一回やってみようか」と保育士が見守る中でがんばって乗り越える姿が見られます。

お家でも忙しい中ではありますが一呼吸おいて見守り、応援してあげてください。

また、自分の物を自分で持つのは大事な自立の一步です。登降園の際に自分で持つ物も自分で持つように声をかけてあげてください。

—今月のねらい—

お話を聞いてイメージを膨らませ、その気になって遊ぶ中で自己主張ができてお友だちと協調して遊ぶ喜びを深めよう。

